

- 1 会議名 議会運営委員会
2 日時 平成29年12月6日(水)
開会 午前11時9分
閉会 午前11時26分
3 場所 正・副議長応接室
4 出席議員 (委員長) 須藤智子、(副委員長) 大野慎治
(委員) 塚本秋雄、鬼頭博和、木村冬樹
黒川武議長、梅村均副議長、宮川隆議員
5 欠席議員 なし
6 説明員 行政課長中村定秋、議会事務局長尾関友康、同統括主査寺澤頭
7 委員長あいさつ
8 議長あいさつ
9 協議事項

(1) 請願の取扱いについて

統括主査：資料に基づき説明

質疑は無く、請願第12号を本会議において審議することに決した。

(2) 平成30年3月(第1回)岩倉市議会定例会会期(案)について

統括主査：資料に基づき説明

塚本委員：告示日に議案が印刷されて示されるという解釈で良いか。

行政課長：議案に関しては何とか間に合いそうである。しかし、一般質問が心配である。資料上部の会期(案)であるならば、告示日が2月16日である。通常であれば全員協議会から告示日まで1週間である。その間にヒアリングを予定してきたが、その予定が厳しくなる日程である。

木村委員：厚生・文教常任委員会終了後からの7日間が全てである。

大野副委員長：26日を開会日とするとどうなるか。

木村委員：高校の卒業式の関係で26日も27日も同じ結果となる。厚生・文教常任委員会後の7日間を確保するのであれば、この日程でも仕方ない。

大野副委員長：2月26日開会日として、3月26日閉会日では無理か。

統括主査：4月末は連休となるため、市議会だよりの納品が早い。係内で議論しているが日程的に厳しいものを想定している。

大野副委員長：財務常任委員会の議事録を要約して市議会だよりに反映させている。総務・産業建設常任委員会も厚生・文教常任委員会も要約すれば良いのではないか。正式な会議録を手元に置いて委員長報告しなくても良い。以前は職員が作成した要約筆記の会議録で報告していた。

木村委員：本会議の休憩中でさほどの時間を取れない。委員会の議事録が焦点となってきた。これがどうしても困難なのであれば会期を動かすのは難しい。今日ふたつの案が示されたので、会派で検討して次回に継続するというのでどうか。

須藤委員長：会派にて検討し、次回へ持ち越すこととする。

(3) その他

(愛知県市議会議長会へ提出する議案について)

議会事務局長：資料に基づき説明

質疑は無く、資料提示した議案を岩倉市議会提出議案とすることに決した。

10 その他

木村委員：議案質疑における堀議員の質問について、議長が「会議規則の規定上」と発言されたが質問の趣旨が変われば回数は制限されない。堀議員は「何条については...」「何条については...」と質問していた。これを制限するのは良くないと感じた。